

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 あかつき園

評価実施期間 平成22年9月6日～9月6日

1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号

2 事業者情報

【平成22年11月1日現在】

事業所名称：障害者支援施設 (施設名) あかつき園	サービス種別：生活介護、施設入所支援、短期 入所、就労移行支援、就労継続支援
開設年月日：平成21年4月1日	管理者氏名 石堂 一徳
設置主体：社会福祉法人暁星会	代表者 職・氏名 理事長 橋口 勝
経営主体：社会福祉法人暁星会	代表者 職・氏名 理事長 橋口 勝
所在地：〒891-3604 鹿児島県熊毛郡中種子町野間6584番地1	
連絡先電話番号：0997-27-0377	FAX番号：0997-24-2211
ホームページアドレス http://www.gyoseikai.or.jp	E-mail：honbu@gyoseikai.or.jp

基本理念・運営方針

< 理念 >

私たちは福祉人として人間の尊厳を基に、障害のある方が希望に満ちた人生をおくれるため、また社会で自立し、健康で心豊かな生活ができる支援に邁進します。

- 1 利用者の個性や能力を尊重した支援
- 2 園で、地域で、文化的ないきいきした生活の支援
- 3 将来への夢と希望にあふれた支援
- 4 心地よい雰囲気作りと配慮の行き届いた環境づくり
- 5 経営者および職員が共に研鑽し、情報公開された運営と利用者のよき人生の支援

< 基本方針 >

1 就労：利用者の個性に合わせ、協力して作業を行うことによって生産の喜びを知り、作業意欲が湧く支援をする。

生活：利用者の体力と機能を高める運動を重視し、し好を取り入れバランスのとれた食事で健康的な生活を目指す。

2 音楽、演劇などの文化活動に積極的に触れ、個々の特性を伸ばしてゆく支援を目指す。

3 地域活動に積極的に参加させ、社会性を育ませる。

4 児童に生活のしつけと社会ルールを学ばせ、将来の職業を意識させて指導する。

5 大声をあげない、怒鳴ったりしないおだやかな会話で、目配り、気配りを大切にした家庭的な雰囲気をつくる。

6 バリアフリーな建物、花や緑、そして絵画などがあふれた落ち着いた落ち着きのある、プライバシーが守られた施設環境づくりを目指す。

7 園内外での研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを目指す。

そして、利用者の家族と職員と経営者は連絡を密にし、職員会議で情報の共有化を計り利用者の良きパートナーを目指す。

【利用者の状況】

定員 60	利用者数 54
-------	---------

※ 利用者台帳（別紙）添付

【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数	
	常勤(人)		非常勤(人)				
	専従	兼務	専従	兼務			
園長（管理者）		1			1	1	
副園長		1					
サービス管理責任者	2				1	1	
看護師	1	1			1.5	1	
生活支援員	12		4		12.8	9	
就労支援員	1				1	1	
職業指導員	3				2.7	1	
栄養士		1			0.8	1	
調理員		3		2			
事務員		2		2			
前年度採用・退職の状況			採用	常勤	4人	非常勤	4人
			退職	常勤	2人	非常勤	3人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					3・4年		
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					3・3年		
○常勤職員の平均年齢					40・7歳		
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢					37・7歳		

3 評価の総評

◇特に評価の高い点

障害のある方が、社会で自立して希望に満ちた人生を送ることができるように支援するという理念のもと、職員一丸となって取り組んでいる。

サービス担当者会議では、利用者固有の表現方法やサインについて報告し合い、利用者の意向の正しい理解を心がけている。さらに、手話研修を開催するなど、意向把握へ向けた職員の知識向上にも努めている。

毎月開催される人権擁護委員会には、利用者もメンバーとして参加しており、「言葉使い」や「いやを言えること」について、わかりやすい説明文書を施設内に掲示している。利用者の会である「夢をつなぐ会」を設置し、会議で出された要望は行事計画等に反映している。

◇改善を求められる点

具体的な内容の中長期計画や事業計画が策定されているが、年度途中での確認は行われていないので、あらかじめ時期や手順を定めて実施状況を評価する取り組みに期待したい。

職員の職務遂行能力と行動及び成果を、一定の基準に沿って評価し活用するために、客観的な人事考課基準の策定が望まれる。

ヒヤリハット・事故報告については、当事者が状況や改善策を記録に残し委員会で報告しているが、安全に関する意識を職員全体で向上させるためにも、当事者以外の職員も参画した検討会の実施に期待したい。

4 評価結果(別紙)

5 利用者調査の結果(別紙)

6 事業者の自己評価結果(別紙)

7 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて福祉サービスの第三者評価を受け、当施設において1年前から準備委員会を立ち上げ、職員参画の下、準備をして参りました。準備委員会を進めていく内に、何が足りないのか、何が必要なかを職員が考える事によって、意識改革に繋がったような気がします。新たに運営を行っていくための組織、委員会を立ち上げられた事も良かった点だと思います。委員会を開催するにあたり、職員自らが課題を見つけ、会議を行うことによって自己研鑽に努めることが出来てきつつあります。今回、受審を受けて調査員の方からのアドバイス等を伺い、まだまだ改善すべき点があることを再確認しました。また、受審した結果、評価されたことは職員の自信に繋がったと思います。改善すべき点は、これからの課題として取り組んでいきたいと思っております。常に利用者の希

望に満ちた人生を送れることを意識しながら、その為にはどのようにしたらよいのかを検討して、次回の受審時には、自信を持って臨めるように職員一丸となって研鑽していきたいと思います。